

【韓国】文在寅政権の対日外交

前九州大学韓国研究センター 菊池 勇次

(本稿は、海外立法情報課が執筆を依頼したものである。)

* 2017年5月10日に就任した文在寅（ムン・ジェイン）大統領は、対日外交について、歴史問題の直視と未来志向的協力関係の発展を並行して進める方針を掲げ、慰安婦問題に関する日韓合意については、韓国国内の否定的な感情を指摘しつつも、再交渉には直接言及しない対応をとっている。

1 大統領就任前の対日外交公約及び発言

2017年5月9日、朴槿恵（パク・クネ）前大統領の弾劾に伴って実施された韓国大統領選挙において、共に民主党の文在寅（ムン・ジェイン）候補が当選し、翌日就任した。

文大統領は、4月28日に公表した大統領選公約集の外交部門において、対米、対中の次に対日関係の項目を設け、「歴史問題に対する[日本の]心からの反省と実利的な友好協力を同時に推進する」との方針を掲げた。具体的な公約は、①2015年12月28日の慰安婦問題に関する日韓合意（本誌266-2号（2016年2月）pp.37-39参照）の再交渉等を通じ、被害者[元慰安婦]が認め、韓国国民が同意できる水準の合意を導き出し、②日韓秘密軍事情報保護協定（GSOMIA）（本誌270-1号（2017年1月）pp.40-41参照）の有効性を検討した後、協定の延長について判断する一方、竹島問題及び歴史わい曲には断固たる対応をとり、③雇用創出、第4次産業革命（情報技術を活用した製造業の革新）等の新成長分野における協力を通じ、実利のかつ成熟した協力パートナーシップを構築することなどである。

また、慰安婦問題及び日韓合意については別途に項目を設け、①同問題の真相糾明及び被害者の名誉回復を行う一方、屈辱的な合意を無効化して再交渉を推進し、②元慰安婦の故・金学順（キム・ハクスン）氏が公の場で被害を証言した8月14日（1991年）を[法定]記念日に指定（本誌266-1号（2016年1月）p.46参照）するとともに、造形物[慰安婦像等]を保護し、③歴史的資料の収集・保存・管理及び調査・研究を体系的に実施することなどにより、同問題を「正しく解決する」との公約を掲げた。

同公約集発表前にも、2017年3月28日に行われた共に民主党予備選挙の候補者討論会において、文大統領は他候補の「日本は軍事的敵性国」という発言について、「解決しなければならない歴史的な問題が残っている。しかし、我々と最も近い国であることも事実ではないか」と発言し、4月13日に発表した「文在寅10大公約」においても、「韓米同盟の強化及び日本、中国、ロシア等、周辺国との協力を通じ、北朝鮮核問題の根本的解決を推進する」と表明するなど、日本との友好協力を重視する姿勢を示していた。

一方、日韓合意に対しては、大統領選の遊説においても、たびたび「間違った合意」であると批判し続けていた。2017年1月11日に元慰安婦の墓地を訪れた際、「到底受け入れられない無効な合意である。慰安婦問題について新たに合意しなければならない」と発言

し、同月 20 日には在釜山日本国総領事館前の慰安婦像(本誌 270-2 号(2017 年 2 月)pp.42-45 参照)を訪れて日韓合意及び日韓両政府を批判し、3 月 24 日の大統領選出馬宣言では、「慰安婦被害者の方々に道理を尽くす国」にしなければならないと訴えた。

2 大統領就任後の対日外交及び発言

2017 年 5 月 11 日、文大統領は安倍晋三首相と電話会談を行った。この会談で文大統領は「[1965 年の日韓] 国交正常化以降、半世紀の間に両国関係は浮き沈みもあったが、大枠において、韓日両国は多様な分野で刮目(かつもく)に値する発展を成し遂げており、今後の協力の潜在力も無限である。両国が成熟した協力関係を発展させるに当たって、歴史問題等、多くの懸案が障害にならないよう、歴史を直視しつつ、懸案に真摯に取り組むことになるだろう。[他方、] はっきりと申し上げたいのは、歴史問題が両国関係の未来志向的発展の足を引っ張ってはならないということである。その問題はその問題として、双方が賢明に克服できるよう共に努力しつつ、それとは別途に北朝鮮の核ミサイル問題への対応と両国の未来志向的発展のための努力を並行していく必要がある」と述べ、早期の日韓首脳会談の開催を希望し、両首脳の相互訪問を提案した。

また、安倍首相が日韓合意の着実な履行を期待する立場を示したのに対し、文大統領は「慰安婦問題を含む歴史問題は、我々が両国の関係を発展させていくに当たって、共に賢明に克服することを希望する。河野談話、村山談話、金大中(キム・デジュン)・小渕共同宣言の内容と精神を継承し、尊重する姿勢が必要だ。我が国民の大多数が感情的にその合意(日韓合意)を受け入れることができないでいるのが現実であり、民間の領域で起きる問題について、政府が乗り出して解決することにも限界があるため、時間が必要だ。そうした[韓国]国民の感情と現実を認めつつ、双方が共に努力しよう」と返答し、日韓合意に対する国内の否定的な感情を指摘しつつも、再交渉には直接言及しない対応をとった。

次いで、文大統領は文喜相(ムン・ヒサン)元国会副議長(共に民主党、元韓日議員連盟会長)を特使として日本に派遣した。文特使は 5 月 18 日に安倍首相と面談し、文大統領の親書を伝達した。文特使は同月 24 日の文大統領との面談において、訪日の成果として、日韓両首脳が毎年相互訪問して会談を行うシャトル外交復活の必要性に関する認識を共有したことを挙げる一方、懸案については双方が異なる立場を堅持していると報告した。

安倍首相も二階俊博自由民主党幹事長を特使として派遣し、二階特使は 6 月 12 日に文大統領と面談して安倍首相の親書を伝達した。この席で文大統領は、日韓合意について同様の発言を行い、北朝鮮問題では圧力及び制裁強化の必要性を認めつつも、北朝鮮との対話の必要性に言及した。また、日本からの観光客の増加についても期待を示した。

なお、日韓合意について、韓国外交部(部は省に相当)は 6 月 1 日の記者会見の席で、「政府は慰安婦合意について、我が国民の大多数が感情的に受け入れることができないでいる現実を認めつつ、韓日両国が共に努力し、問題を賢明に克服していくことを希望する」と述べ、文大統領の発言に沿った立場を表明した。従来「合意を着実に履行する」という韓国政府の立場を変更したのかと尋ねる記者の質問に対し、同部報道官は「我が政府の立場については、自分が今申し上げたとおりである」と回答した。

一方、同月 12 日の秋美愛（チュ・ミエ）共に民主党代表と二階特使の面談において、秋代表が「韓日合意は当然無効であり、再交渉しなければならない」と要求し、同月 13 日の鄭鉉栢（チョン・ヒョンベク）女性家族部長官候補者の人事発表において、大統領府が「韓日日本軍慰安婦合意の再交渉等、喫緊の懸案も支障なく解決することができるものと期待する」と発言した後、それを取り消す事態が発生するなど、文大統領がとった日韓合意の再交渉に直接言及しない対応については、政府与党内で一致しない発言も出ている。

3 外交部長官候補者人事聴聞会

2017 年 6 月 7 日に国会外交統一委員会で行われた康京和（カン・ギョンファ）外交部長官候補者の人事聴聞会において、康候補は対日外交の方針について、「日本とは実利的な協力を土台に未来志向的かつ成熟した協力パートナーシップへの発展を図っていく。日本軍慰安婦問題は、被害者中心の観点から知恵を集め、日本との対話を続けながら、誠意ある措置がとられるよう努力する。さらに、歴史問題が両国関係の障害にならないよう歴史を直視しつつ、外交、安全保障、経済、文化等、他の多くの分野での実質的な協力関係を発展させていくよう努力する」との方針を表明した。

日韓合意に対する立場を問う質問に対しては、「国連で人権問題を 6 年間担当した立場から見ると、合意が出た際、非常に疑問を感じる部分が多くあり、（中略）大統領も述べたように、大多数の国民が感情的に受け入れられない状況になった。[一方、] 合意が存在するのも現実であり、合意を守らなければならないというのが国際社会の慣行である。しかし、今後、あらゆる方法を検討することができると思う。そのため、[まず] 内部で検討を行い（中略）、積極的に努力してみたい」と答弁した。

日韓合意の性格等を問う質問に対しては、「[拠出金] 10 億円の性格が明確ではなく、また、『不可逆的かつ最終的な合意』というのも、軍事的な合意で出てくるような言葉だと考える。人権問題において、最も核心となるのは被害者中心の[観点並びに] 法的責任及び賠償である。この部分において不明確な点があるため、合意が不十分であったのではないかと思う。もちろん、合意は口頭で両外相が発表したものであるため、法的拘束力もない」と答弁し、長官就任後は綿密にこうした問題を検討するとともに、元慰安婦と頻繁に会う機会を設け、長官公邸にも招待し、文大統領に元慰安婦との面談を提案すると述べた。

具体的に日韓合意のどの点を補完するのかという質問に対しては、10 億円の性格の確認と被害者が誠意を感じることでできる日本政府の措置が必要だと答弁した。これに対し、そうした点を補完するためには、日本政府との再交渉が不可避ではないかという質問がなされたが、康候補は「まだ、そのように予断できる時期ではないと考える」と答弁した。

参考文献（インターネット情報は 2017 年 6 月 14 日現在である。[] 内は筆者による補足。）

- ・「[자료집] 나라를 나라답게 - 제 19 대 대통령선거 더불어민주당 정책공약집」
<<http://theminjoo.kr/fileDn.do?seq=23711>>
- ・「문 대통령, 아베 신조 총리 통화 관련 운영찬 홍보수석 브리핑」
<<http://www1.president.go.kr/news/briefingList3.php>>
- ・「제 351 회 국회 (임시회) 외교통일위원회회의록 (임시회의록) 제 2 호」
<<http://likms.assembly.go.kr/record/index.jsp>>